

THE CLASSICAL GUITAR

第11回

ファミリーコンサート



2013

とき 2013年 3月10日(日)

ところ 四日市市・楠福^{くす}社会館

開演 13:30 終演 15:30

四郷・ギターサークル

第11回 ファミリーコンサートを迎えて

本日はご来場いただきありがとうございます。昨年は一区切りとなる第10回ファミリーコンサートを終えることができました。これも皆様方のご支援の賜ものです。その後、こつこつと積み重ねてきた練習の成果が得られたと自信が持てるようになり、この一年間を更なる活躍を遂げたいと新たな志が芽生えてきました。その一つにホームページの開設と念願の地元高齢者クラブとのギター交流会を2度開催しました。さらにはこの2月に講演会の前座演奏ではありましたが、四日市市文化会館第1ホールでの大舞台に立つことができる恵まれた機会を得ることができました。そして今年も無事に定期コンサートを催すことができました。急に上達したわけではありませんが、今日のコンサートは今までとは一味違ったハーモニーをご披露できると自負しています。どうぞごゆっくりお聴きください。

キーワード「四郷ギターサークル」

メンバー一同

第 一 部

[ソ ロ]

1. 入り江のざわめき.....アルベニス 作曲..... 大久保克己
アルベニス作曲のピアノ曲集「旅の思い出」の第7曲。早いアルペジオとアウフタクト（裏打ち）を含むリズムや早い三連符のスラーが難しく、昨年に引き続きトライします。
2. マリエータ.....F. タレガ 作曲..... 藤井由紀夫
タレガの娘マリエータを生後まもなく病で亡くした悲しみをこの曲に書き綴ったといわれています。
3. マリーア.....F. タレガ 作曲..... 川村浩晏
幼い娘を亡くした作曲者が、深い悲しみと娘への想いを込めて作曲したといわれています。曲の中に「マリーアにもう一度逢いたい・・・」と語りかけているような旋律が見られます。
4. ミ・ファボリータ.....不詳（スペイン民謡）... 松本けい子
スペイン語「Mi favorita」は英語なら「My favorite」、訳すと「私のお気に入り」もしくは「私の愛しい人」という意味。2年前にメンバーが弾いたのを聞き、哀愁感漂うメロディーに感動して、ぜひ弾きたいと頑張って練習してきました。

[三 重 奏]

5. ノクターン第2番 変ホ長調 作品9-2...F. ショパン 作曲...市川・片山・森井
ノクターン（夜想曲）はラテン語のノクトゥルヌス「夜の」が語源になっています。この曲は映画「愛情物語」の主題で知られ、ショパンの甘い旋律が歌われています。
6. 小象の行進.....H. マンシーニ 作曲.....市川・片山・森井
1961年作の米国映画「ハタリ」の挿入歌です。作曲家のマンシーニは「ムーン・リバー」「ピンク・パンサー」「シャレード」「酒とバラの日々」などの映画音楽で有名です。

7. 野ばら.....H. ウエルナー 作曲

.....稲毛・大久保・寺本・肥田・藤井・松本

「童は見たり野中のバラ...」でおなじみのゲーテの詩にウエルナーが曲を付けたものです。ハーモニーの美しい前半とアルペジオが楽しめる後半から成る編曲になっています。

8. ヴェニスの謝肉祭変奏曲.....イタリア民謡

.....稲毛・大久保・寺本・肥田・藤井・松本

世界3大カーニバルの一つにヴェニスの謝肉祭があります。この編曲はテーマと三つのバリエーションからなっています。仮面をつけた陽気なイタリアの貴族たちが楽しく繰り広げる舞踏会の様子を想像しながら聴いてみてください。

[パート別グループによるアンサンブル]

9. イエスタディ

.....ポール・マッカートニー 作曲

.....戸谷・原・藤井・松本・森井

1965年ビートルズのアルバム「四人はアイドル」に収録された曲で乳癌で死去した母への想いを歌った曲です。

10. サウンド・オブ・サイレンス

.....ポール・サイモン 作曲

.....戸谷・原・藤井・松本・森井

1965年に発表されたサイモンとガーファンクルの曲。1968年の映画「卒業」の挿入歌です。

11. アメージング・グレース.....イギリス民謡.....市川・川村・原井・肥田

17世紀にイギリスのJ・ニュートンがフォークソングの旋律に乗せて作詞した曲です。1972年J・コリンズの歌で大ヒット。アメージングとは「妙なる恵み」の意。

12. 望郷の歌

.....ドイツ民謡.....市川・川村・原井・肥田

原題の直訳は「あの低地では」で、ドイツのシュバークンアルプスの高地と対比したその北側にある美しく住み心地のいいネッカー川の谷間の低地への思いを歌った曲です。

13. ローレイ.....F・ジルヒャー 作曲.....稲毛・大久保・片山・寺本・原田

1838年に作曲され、日本には明治42年に近藤朔風の訳で紹介されました。ローレイはライン川流域にある岩山のことで「ローレイ伝説」に基づくドイツの民謡です。

14. エル・チョコロ

.....アルヘン・ピジョルト 作曲

.....稲毛・大久保・片山・寺本・原田

1903年に作曲されたタンゴの名曲。「エル・チョコロ」は「とうもろこし」との説もあります。アメリカでは「Kiss of fire」としてカバーされスタンダード曲となりました。

第 二 部

[合 奏]

1. 鉄道員 C. ルスティケリ 作曲
1951年のイタリア映画「鉄道員」の主題歌。映画の最後に主人公機関士がベッドで愛する妻にギターを聞かせながら亡くなる。その哀愁に満ちた旋律をお聴きください。
2. エーデルワイス R. ロジャース 作曲
映画でもおなじみのブロードウェイ・ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」の代表曲の一つです。今回はバッハの小品を入れ、メヌエット風のアレンジとなっています。
3. サバの女王 M. ローラン 作曲
映画では英知にとんだソロモン王の噂を聞いたシバ国の女王が表敬訪問し、やがて二人は恋に落ちるという物語。日本ではレイモン・ルフェーブル楽団の演奏で大ヒットしました。

[みんなで歌いましょう]

4. 朧月夜 高野辰之 作詞 岡野貞一 作曲
大正3年発表、尋常小学校唱歌。長野県飯山市で小学校教師をしていた時、見た菜の花畑の印象を歌ったといわれています。
5. 花 武島羽衣 作詞 滝廉太郎 作曲
1900年に発表された歌曲集（組歌）「四季」の第一曲。日本で最初の本格的な合唱曲だといわれており、中学時代のコーラスが思い出の曲です。
6. 浜辺の歌 林古溪 作詞 成田為三 作曲
作者成田為三が24歳の時（1916年）、東京音楽学校の同窓生である女性に贈った恋歌だといわれています。作詞者林古溪は歌詞の3番が気に入らなくて2番までが歌われています。
7. ふるさと 高野辰之 作詞 岡野貞一 作曲
この曲は生まれた故郷から離れて学問や勤労に励む人の心情を歌っています。私たち日本人の「心のよりどころ」であり、子供の頃のぬくもりが感じられます
8. 今日の日はさようなら 金子詔一 作詩・作曲
1966年にヒットした森山良子のフォークソング。親子で長く歌い継いで欲しい「日本の歌百選」に選ばれた。本日の皆様に感謝をこめて演奏します。

招 待 演 奏

発表会最後の演奏として、中子たく矢君、しん矢君の2人によるソロと二重奏の演奏をお聴き下さい。

中子ギター・アンサンブルのみなさんには2004年の第4回発表会から出演して頂いています。

プ ロ グ ラ ム

1. ワルツ第3番.....A. バリオス 作曲.....中子しん矢
バリオスは中南米パラグアイのギタリスト兼作曲家。これは二短調(Dm)の4分ほどの作品。F. ショパンのワルツに触発されて書かれたとも言われているようにショパンの雰囲気と中南米の情熱とを併せ持ったような切なさの溢れる曲。2曲目のワルツ第4番とセットで弾かれることも多い。
2. ワルツ第4番.....A. バリオス 作曲.....中子しん矢
ト長調(G)の4分ほどの作品。この曲もショパンを彷彿とさせる曲で、きらきらと音がしずくとなってあたりにまき散らされているような感覚を覚える。バリオスは自作を後世に伝えたいと欲がなかったのか、彼のワルツは1、2番もあったのだろうか、現在この2曲だけしか知られていない。
3. 組曲イ短調より「ジーク」.....M. M. ポンセ.....中子たく矢
ポンセは19世紀後半にメキシコで生まれた作曲家。ギターの様セゴヴィアと親交があり、これも彼の「バロック風の曲を」という依頼に答えて書かれたもの。そのいきさつもあり最初は実在のバロック作曲家S. L. ヴァイスの作品として発表された。ジークはバッハのチェロ曲にも使用された活発な舞曲。
4. 主よ 人の望みの喜びを.....J. S. バッハ.....中子しん矢&たく矢
バッハのカンタータ(歌付き宗教曲)「心と口と行いと生活で」の中の合唱曲として歌われる曲。原曲よりもさまざまな形に編曲されて有名。三連符を基調としたメロディーが静かに美しく歌われ、付点音符風の伴奏がしっとりと寄り添うようにそれを支える。日ごろ宗教心のない人でもなんとなく敬虔な気持ちにさせてくれ、ストレスですさんだ心を癒してくれる。
5. アルハンブラの思い出.....F. タレガ.....中子しん矢&たく矢
タレガは19世紀半ばにスペインで生まれたギタリスト兼作曲家。今日演奏するのはトレモロ奏法によるギターの名曲中の名曲に19世紀後半アルゼンチン生まれのギタリスト、サグレラスが2ndパートを補筆したもの。サグレラスはよほどこれが気に入っていたのか、コンサートの始めに必ず弟子と二重奏で演奏していたという。

四郷ギターサークル メンバー紹介

- 市川日登美 ずるずると年数が経っただけで技量はほとんど進歩しない私。短指のせいにしてしまうけど、自分が楽しんで弾ける曲を選んで取り組んでいます。自分なりに工夫して音符を減らしたり、三重奏でハーモニーを完成させてソロと違った喜びを味わっています。
- 稲毛博子 就職してマンドリンクラブに入り、辞めてから36年ぶりに60の手習いでギターを始めました。四郷ギターサークルに入会して6年、その間2度の大病を乗り越え今日まで頑張ってきました。今後もできるだけ続けていきたいと思っています。
- 大久保克己 年が明け発表会が近づいてくると不安でいっぱいになり、年々指も思うように動かす心はドキドキ、血糖値もアップアップ。目標を持っているつもりですが、なかなか達成できません。何とか楽しんで弾きたいと心がけたいものです。
- 片山正人 演奏会には第4回目から参加しています。最近では記憶力の低下で暗譜が苦手となり、また指関節が痛んで思うように練習もできずレパートリーが増えません。それでも文字通り音楽は楽しく、ギターで健康第一が目標です。
- 川村浩晏 気持は元気でも加齢は容赦なくやってきます。変形が進む指、30分も弾けば指が痛み、目は楽譜や運指が追っかけられない、練習していても気持ちが萎える今日この頃です。加齢と相談しながら見合った曲を10年、20年先まで弾けたらと思います。
- 寺本俊夫 退職後40年ぶりにギターを再開して3年。ギターの奥深さ、難しさを感じる今日この頃です。愛情と情熱を持って練習に時間を掛けるほどギターはそれに応えて美しい音で音楽を奏できます。今年は初心に帰り精一杯練習してギターを楽しみます。
- 戸谷一男 音符を追っている間はメロディーにならない。自らが歌って弾かなければギターは歌わない。それが悩みの種。ウィズ・エイジングでも穏やかさと感性は豊かになれる筈。うたかたのシャボン玉がもっと飛び続けるように、アンダンテながら精進します。
- 原京子 今年中には独奏曲にチャレンジしたい、弾けるようになりたいと、ハードルの高い目標を掲げています。弾ける曲と弾きたい曲には大きな隔たりがあり、今一歩が踏み出せずにいます。合奏を楽しみながら少しずつ前進し、ギターに関わりたいです。
- 原井正生 気楽に楽しみたいとの思いから始めたギター、サークルの仲間と共に楽しんでます。弾き弾きたい曲はたくさんありますが思うようにうまく弾けないので、あせらず毎日少しずつでも時間を作って根気よく練習をしようと思っています。
- 原田洋子 人に聴いてもらえる演奏が最初の目標でしたが、いまだに達成していません。合奏も楽しいですが、初心に帰ってソロで弾けるようになって大きな顔をして「ギターをやっている」といえるよう頑張りたいと思います。
- 肥田良子 子供の頃よく童謡のレコードを聴いていました。レコード盤には絵が書いてあり、それがグルグルとまわるのが面白くて何曲も家族で歌っていました。とても楽しい思い出です。そして私の音楽の原点かもしれません。両親に感謝します。ありがとうございます。
- 藤井由紀夫 ギター教室に通い出して早いもので5年目になります。だんだん難しい曲にチャレンジするようになりましたが、その分なかなか弾けるようになりません。前におぼえた曲はどんどん忘れていくし、ちょっとしたスランプ気味のこの頃です。
- 松本けい子 今回5回目の発表会です。いつもハラハラドキドキ。思うように指も動かさずとても難しいのですが、ギターを弾いていると心がなごみ、皆さんと一緒に弾ける楽しさが出て仲間に入れて頂き幸せに思います。これからもよろしくお願いします。
- 森井誠治 25年ぶりに始めたギターも3年半経ちました。加齢による指関節の痛みが増してきたことにより、いつ弾けなくなってもいいように、クラシックだけでなく以前から弾きたかったボサノバやフラメンコなどのジャンルにも、昨年からはトライしています。

なかこギター・アンサンブルのみなさん

なかこギター・アンサンブルは鈴鹿市に住んでいる中子祐二、ゆう矢、たく矢、しん矢の親子4人によるクラシックギターユニットです。全国各地で開かれるコンクールにも毎年挑戦しながら、さまざまなイベントでも演奏しています。訪問演奏もしますのでお気軽にお問い合わせください。

なお今回は二男のたく矢、三男のしん矢の二人で演奏します。

中子しん矢

中学校2年生。5歳からギターを始める。2006年より速水武志氏に師事。

2010年「第35回ギター音楽大賞」ジュニア部門に出場し優勝

2012年「第39回日本ギターコンクール上級部門」に出場し銀賞を受賞

中子たく矢

大学1年生。5歳からギターを始める。小学2年生より速水武志氏に師事。

2006年8月「第33回日本ギターコンクール」中学生部門に出場し優勝

2007年8月「第34回日本ギターコンクール」中級部門に出場し金賞受賞

2008年8月「第35回日本ギターコンクール」上級部門に出場し金賞受賞

[四郷ギターサークル2012年度の足跡]

2012年7月 サークルホームページ開設

2012年7月 まなぼうや通信 2012年夏号 vol. 25 にて活動が紹介される

2012年8月 四日市ケーブルテレビ番組「NEWS エリア便」にて活動が紹介される。

2012年9月 ギター交流会 (四日市ユートピアハウス久保田)

2012年9月 ギターde交流会に出演 (川越町アイアイホール)

2012年10月 日帰り合宿 (湯の山温泉)

2012年12月 サークル内発表会(ソロ・アンサンブルの部) (四郷市民センター)

2013年1月 ギター交流会 まつもといきいきクラブお楽しみ会(常盤地区松本道場)

2013年2月 講演会「いのちの対話」前座演奏 (四日市市文化会館第一ホール)

2013年2月 サークル内発表会(パート別アンサンブルの部) (四郷市民センター)